

善意の紹介

● 群馬御城印プロジェクト
(吉澤洋紀代表)

AR機能付き御城印図柄マンホールのふた『霸王織田信長血脈の地』を寄付されました。



茂原町長から感謝状を受け取る吉澤さん (写真右)

マンホールのふたは、国指定名勝楽山園の入口付近に設置予定です。

スマートフォン専用アプリを使いAR(拡張現実…現実世界を立体的に読み取り、仮想的に拡張する技術)機能でイラストが浮かび上がって見えます。



AR画像を使用した設置後のイメージです

善意に深く感謝し、広く皆さんにお知らせします。

金婚

結婚50周年(金婚式)を迎えたご夫婦に慶祝状と記念品を贈呈しました。

金婚式名簿

(敬称略)

氏名	夫妻	地区
中野	薫 明 惠 理子	国 峰
山本	秀 夫 ち え子	天 引

～ おめでとうございます ～

町では、結婚50周年(金婚)を迎えるご夫婦を祝福しています。

町内に引き続き5年以上お住まいのご夫婦で、婚姻の届出後50年が経過した日以後、いつでも申請することができます。

■ 福祉課福祉係 ☎67-5162

ふるさとづくり寄附金

(6月20日入金確認まで。敬称略、公表希望のみ掲載)

事業の区分	氏名	金額
歴史を生かしたまちづくりに関する事業	堀口育男(茨城県水戸市)	70,000円
自然環境の保全に関する事業	堀口育男(茨城県水戸市)	30,000円
子育て支援に関する事業	長岡静江(神奈川県川崎市)	100,000円
産業の振興に関する事業	長岡勝美(神奈川県川崎市)	100,000円

● ● ● 善意に深く感謝し、広く皆さんにお知らせします ● ● ●

社会福祉協議会からのお知らせ

広報かんら6月号「社会福祉協議会だより」の中でご紹介した記事内容の表記に誤りがありましたので改めてご案内します。

トルコ・シリア地震救援金

● NONNAの会(長岡晴美代表) 42,720円

寄付金は日本赤十字社群馬県支部を通じて現地被災者支援活動のために役立てられます。

募金額の報告

町で行っていた「2023年トルコ・シリア地震救援金」の受付は5月31日をもって終了しました。救援金は、甘楽町社会福祉協議会を通じて日本赤十字社群馬支部へ送られ、被災者支援活動のために役立てられます。

多くのあたたかいご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。

▶ 2023年トルコ・シリア地震救援金

募金総額 123,288円



かんらびと
甘楽人
 —この地で輝く—
 file 1

富田製麺 菊池 崇寛さん

製粉から加工まですべてを行う製麺所の4代目の菊池さん。町内産の小麦をメインにしたうどんは、創業当時と変わらぬ製法で作られています。

菊池さんは、テイクアウトとインターネットを兼ねた店舗の開業、インターネット販売、新商品の開発、さらに「直接、この味を届けたい」と、県内外の催事会



人とのつながりを大切にしたい

場に赴きます。

アイデアを形にしていくなかで、先代と意見が対立したこと。それでも、食生活の変化に伴い既存の事業形態だけではこれからの時代は難しいと感じ、行動を起こさなければならなかったと笑顔で振り返ります。

味には絶対の自信を持ち「この人から買いたい」と思ってもらえる関係を築きたいと日々奮闘中。「単なる商売に留まらず、人とのつながりを大切にし、自分も周囲も心地よい場をつくりたい」と話します。

「やっぱり甘楽、好きだな」と話す菊池さんは、岩手県内の大学に進学、会社員として就職した経験を持ち、離れてみて町の良さ・家族の大切さ・家業の魅力を改めて実感したといいます。幼い頃、手をひかれて付いて行っただんの配達時にお客さんにかわいがってもらい人と話すのが好きだと感じた、そ

の時の思いが4代目を継いだ今につながっています。

「この町の人々に育てられたという思いがあるからこそ、うどんを通して甘楽をアピールして恩返ししていきたい」と熱い思いを話してくれました。

菊池さんの活躍は
 お店のインスタで
 見られます↓



このコーナーでは、町に住んでいる人、町内で働いている人など町に関わりがあり、きらりと輝き活躍する人の姿を紹介していきます。



上州新屋駅に 観光案内板が登場!

企画課企画調整係 ☎(74)3133

「甘楽町観光案内板」が6月8日、上信電鉄・上州新屋駅の駅舎内に設置されました。

案内板は町と連携協定を結ぶ高崎商科大学の協力により完成したものです。作成にあたって学生たちは何度も町内を訪れ、学生ならではの視点でとらえた町の魅力を案内板に取り入れました。



案内板を披露する高崎商科大学の教授と卒業生を含む学生の皆さん